

平成 30 年度第 1 回富津市民委員会 グループ 1 討議結果（要旨）

1 開催日時等

開催日時	平成 30 年 11 月 25 日（日） 午後 1 時 30 分～4 時 10 分
場 所	富津市役所本庁舎 5 階 503 会議室
討議事項	富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標 1
出席者	富津市民委員会委員 14 名（コーディネーター）オノミチ三由紀（事務局）坂本企画課長、山田主任主事
傍聴人	4 人

2 討議事項

総合戦略の基本目標 1（自分のくらす地域を好きになる）に記載している次の事項について、討議を実施。

- (1) 基本的な施策の方向
- (2) 課題
- (3) 地域・民間ができること
- (4) 市民ができること
- (5) 数値目標

3 討議内容（要旨）

(1) 基本的な施策の方向① 地域への愛着が育つ

基本的な施策の方向、課題（市への意見を含む）	
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県外の友人が、「まさか富津に古墳がたくさんあるとは思わなかった。」と言っていた。知られていないことが残念だった。</li> <li>・ フツアーのつくりは良くないが、誰も知らないようなのもっと配ればよい。フツアーなどを配ることで、皆さんに富津市を知ってもらうことになると思う。</li> <li>・ 学校の友達からは、「富津市は山しかない、何も無いところ。」と言われる。インスタグラムやツイッターもあるが、君津に「きみつネット」があるように、富津も「ふつつネット」を作って小さなことでも発信していけばよいと思う。</li> <li>・ 富津を知ってもらうにはフツアーは良い冊子なので、活用を工夫して欲しい。</li> <li>・ 市内のイベントの案内は配信メールでは来ない。前もって知らせたい。</li> <li>・ 富津近辺には情報は多いが、天羽は情報が少ない。もっと大佐和、天羽にも情報を流して欲しい。</li> <li>・ 情報発信について、高校生は、フェイスブックはあまりやっ</li> </ul>

	<p>いので、インスタグラム、ツイッターを活用すれば、高校生は市の情報を知ることができるのではないかと。私自身、投稿はやっていない。マザー牧場にイルミネーションなどがあると行くと思うが、そういうインスタスポットがあまり無いのでやっていない。若い人が来るスポットなどが欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木更津ではインスタグラムをやっていると思うが、富津も観光客にもっとやってもらったら良いと思う。写真を載せるのが良いと思う。市外の方も見られるようになればよい。</li> <li>・平成 27 年度からマイナスになっていることはないと思うが、平成 27 年度の市民委員会会議も、「外部の方を入れてやったのは珍しい。」と言っていたが、そのことを市民が知らなかったことは残念だった。やはり情報発信だと思った。</li> <li>・フツアーもあるが、作りっぱなしの状況。愛着を持つための PR ができていない状態ではないか。</li> <li>・湊で自慢できることは無い。富津地区にはあるが、富津市の一部だけでやろうというような感じがする。富津、大佐和、天羽の 3 地区が一枚岩になって富津市を盛り上げ、PR していかないと、人口の流出は止まらない。</li> <li>・愛着というと、富津は良いところだとは思いますが、県外の人には木更津は知っているけど、富津市は知らないように感じる。</li> </ul>
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR の単線について、学生には待ち時間が多く大変。単線は不便。前より酷いと思う。交通の便がどんどん悪くなっている。</li> <li>・上総湊駅はバスもタクシーも無いので電車で帰ってきたら歩いて家に帰らなければならない。</li> <li>・毎朝息子を送迎しているが、青堀駅は朝の時間帯で電車の発車近くになると送迎が多く混雑するので、そのような時間帯だけでもバス料金を 100 円にするなどのサービスがあれば住み良いまちになるのではないかと。</li> <li>・就職場所としては富津も可能性があると思うが、市外が多いと思う。君津までは複線だが、富津以南は単線。少し風が吹くと止まってしまう。また、駅に駐車場も無い。そのような不便さがあるので、富津が嫌いな訳では無いと思うが、富津を出て就職先に近いところに移ってしまう。</li> </ul>
子ども医療費助成制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少年野球連盟に携わっているが、子供が少ない。君津と合併しないと野球もできないくらい減っているような状況。人が温かいとは分かるが、現実問題として、子供が少ない状況を伝えたかった。私自身、君津から富津に転入したが、君津は子ども医療費が 0 円なのに、富津は 200 円。温かいということも大事だが、現実的、金銭的</li> </ul>

	<p>にもこの差には何かためらいはある。生きていかなければならないので。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・君津市などとは違い、富津市は子ども医療費が200円かかってしまうが、その200円を払っているお母さんが、「払っていても富津が好きだ、富津のためになろう。」と思えるようになることが愛着にも繋がるし、一番大事ではないかと思う。</li> <li>・君津から富津に来て子ども医療費が200円かかるなど小さなこともあり、君津、木更津、市原への転出が多くなっているのが現状だと思う。</li> </ul>
若者が遊ぶ場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い子の遊ぶ場所が全然無い。</li> <li>・横浜の学校の友達は、「インスタ映えするレストランしか行かない。」と言っている。</li> <li>・富津市には流行の場所が全く無い。市原の高校に通う妹も遊ぶ場所は、「ららぽーと船橋」や千葉市になり、富津では全く遊ばない。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が生まれたまちだから、必然的に愛着が湧くが、理由は無い。どうして愛着が湧いているかを掘り下げていければ発信できるのではないか。</li> <li>・人の温かさは見えないのでどのように伝えていくか、愛着が湧くためにどのようなことをすればよいかを議論した方が意見は出るのではないか。</li> <li>・討議が愛着を持ちなさいというところから入ってしまったが、どこで愛着を持てるかなどが重要なのではないか。</li> </ul>
<b>地域・民間ができること</b>	
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フツアーなどは観光協会などを通じてもっともっと外に発信していけばよいのではないか。</li> </ul>
<b>市民ができること</b>	
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前、子育て中のお母さん達に、富津の良いところを聞いたところ、意外と意見が出た。少しずつでもいいから発信できれば良いと思った。</li> <li>・ツーリング仲間にも、もっと富津市を知ってもらうために、フツアーを配りたい。</li> <li>・今までは、情報発信はお金をかけなければならなかったが、SNSでお金をかけないで、個人として発信できるようになっている。何気ない投稿などがヒットすることもある。最近気づいたが、竹岡・金谷の夕方の景色がとてもきれいだと思った。夕日、海、富士山が見られる場所はそうそうない。何気ない発見がよいのではないか。若者のインスタ発信にもつながる。インスタグラムに発信された場所に行くのもよいが、自分が発信すれば自慢にもなると思う。</li> </ul>

魅力再発見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市外の友達に富津を案内した際、「富津は海もあって、自然もあって、食べ物もおいしいので良いところだ。」と言われた。地元にとっぷり住んでしまうと良さが分からない。外の人から言われたことが魅力であると思った。私自身、初めて魅力を再発見した。自分の住んでいるところをもっともっと愛さなければならぬと思った。胸が熱くなる思いだった。</li> <li>・富津がそんなに好きではなかったのに、一度出てみたが、周りの子からの話を聞くと、自分の育った場所は良いところだと気付いた。</li> </ul>
-------	---

**その他（体験談等）**

- ・富津に来て10年になる。誰も知らないところからスタートしたが、富津市に住もうと思った理由は、人が温かかったからである。
- ・人口が減る原因を明確にしてみてもどうか。人口減少の1つの要因として若い女性の転出が目立っているとのことだが、そもそも若い女性を見かけない。高齢者ばかり。
- ・富津市への愛着は、生まれ育ったまちだから当然あるが、生活はしづらいまちであると思う。
- ・地域でできること、地域の魅力をつくるということについて、行政からの指導などもないので分からない。
- ・現状としては、魅力の無い市ではないか。自慢する物は無い。君津のハート型の「濃溝の滝」は若者に魅力だ。富津公園があるが、「それがどうした。」という感じだ。
- ・委員の皆さんの意見を大きくまとめると住みづらいまちということになってしまうのではないか。小さな事だが、子ども医療費の200円、他市と比べて水道代が高いなど。良いところ出して下さいと言われても分からない。
- ・元から住んでいるから愛着がある一方で、交通の便、医療費、市へ様々な相談をしたら反対された経験などのマイナス面もあるので、愛着を持てるかどうかは天秤だと思う。
- ・平成27年度に現在の総合戦略策定のための市民委員会に参加したが、平成27年度からこの3年で何か変わったと感ずることとして、市民アンケート速報版から愛着を持っている人が減っており、肯定的が減って、否定的が増えていることから、愛着をもった若者が減っているのではないかと思った。当時の市民委員会では富津に住んでいる人からは住みづらいという声は少なかったと思った。平成27年度から目に見えての変化は感じられないが、ふるさと納税で富津市を知った方もいる。
- ・新橋に通っている息子は、「富津はリゾート地だ。」と言っており、「富津はやはり良いところだ。」と言っている。
- ・昔も遊ぶ場所は市外だった。

(2) 基本的な施策の方向② 自慢できる地域力の構築

基本的な施策の方向、課題（市への意見を含む）	
子育て環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富津の自慢として、店も医者も少なく不便だが、子供を育てるには自然がいっぱいあってとても良い。私の子供も自然の中で育った。</li> <li>・家の周りにはおじいさんやおばあさんがいて、昔は部落で地域力があり、子供を見守った。今は部落にも子供が少ない。子供会でも活発な活動をしているが、子供自体が少ないので、昔のような活動ができているのか不安。このような状況だと、その子が大きくなり子供会の活動に興味を持たなくなるのが心配である。</li> </ul>
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天羽地区は交通の便が悪い。電車の本数はますます減り、主人がJRで千葉に通っているが風が吹くとすぐ止まるため、君津まで迎えに行くこともあり、大変。地域の中では、電車を使っている人は少ないが、今後が心配。昔は放送で内房線の止まっている情報が流れていたが今は無いためスマートフォンで確認している。住み続けたいが、住み続けられるか不安がある。</li> <li>・電車の止まる情報はメール配信して欲しい。学生も困る。</li> </ul>
地域力の伝承	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代々、地域のリーダーのような人はいるが、自分の息子たちもやれるのか不安。教えられる人がいるうちに教えなければならないと思うが、なかなかうまくいかない。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アパートが新しく建ち転入者が来るが、ごみ出しのマナーが悪い。アパートに住む人は、将来はどこかに行こうとする人だから地域力が弱い。</li> </ul>
地域・民間ができること	
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京湾観音に都会の観光客が来ているが、売店の人は何もせず、観光客はただ下りてまたすぐにバスに乗って帰ってしまう。こういった時に、フツアアなどを配ればPRになると思った。</li> </ul>
市民ができること	
該当意見無し	
その他（体験談等）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私の地区は転入者が多いが、自治会にも加入し、地域活動にも参加してくれている。月1回の集まりにも転入者は出てくれているのでうれしい。</li> <li>・私が携わっている子供食堂の件でチラシを貼りたいと市役所に行ったら、貼りたい団体が他にもあるので子供食堂のためだけにスペースは開けられないと断られたことがあった。市からの応援が感じられなかった。</li> <li>・地域の話だが、市は道路の補修とかもタッチしないということを聞く。</li> <li>・市民委員会は、委員意見に対して、市がそれに応じるような姿勢を見せ、実際に何をしていくのかを話し合う場でなければならないと思う。</li> </ul>	

- ・手話サークルを立ち上げる時に、教育委員会と協議したが、その際行政はすぐには動いてくれないと感じた。

### (3) 基本的な施策の方向③ 高齢者や障がい者が地域で元気に暮らす

基本的な施策の方向、課題（市への意見を含む）	
独居・高齢者夫婦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢の両親と暮らしているが、介護施設で週2回デイサービスを利用できており、ありがたい。独居、高齢夫婦世帯が不安。</li> <li>・自分の祖父とは話す、地域のお年寄りとは話す機会が無い。隣近所にどのようなお年寄りが住んでいるのかわからない状態である。</li> </ul>
買い物難民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い人達がいる家は買い物ができるが、老夫婦で買い物に行けなくなると住みづらくなっていくので、課題ではないか。</li> </ul>
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者について、手話サークルで今年の3月11日に「耳の日まつり」を富津公民館で行った。千葉県中の800人位の聴覚障害の方が集まった。私たちもアピール不足だったと思うが、皆さん知らないと思う。毎年4市で、心身障がい児者のスポーツ大会が今年は11月10日に袖ヶ浦の臨海スポーツ公園体育館で行った。障がい者の方は非常に前向きで明るく、物怖じせず一生懸命ボッチャなどをやっている。こういうことを行政ももっとアピールして欲しい。</li> </ul>
地域・民間ができること	
買い物難民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南房総市ではセブンイレブンが個別に地域を回っている。</li> <li>・静岡の祖母の地区にはお買い物バスが週に2回来るので、こういうものがあると良い。</li> </ul>
市民ができること	
該当意見無し	
その他（体験談等）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家があると寂しい。将来空き家が増えるような地域なら転居しようと思う人が出てくるとよくないと思う。</li> <li>・まだまだ達者なお年寄りも多いと感じる。</li> <li>・コープの宅配サービスの注文方法は難しいので、祖母には無理だと思った。</li> <li>・湊の「吉田屋」が改装した時は、みんな買い物が出来なくて大変だった。</li> </ul>	

### (4) 基本的な施策の方向④ 地域ぐるみの防災、防犯体制の促進

基本的な施策の方向、課題（市への意見を含む）	
消防団活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団が消火栓の点検などしているようだが、車で通りすがっても声をかけてくれない。何をやっているのかは、わざわざ聴かないと教えてくれないので改善して欲しい。</li> </ul>

避難時の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近所の人からの話だが、この間大雨があった時に、避難のため公民館に行ったが、布団は無く、「自分の家から持ってきてください。」と言われた。備蓄のご飯とかも一切無いため、「自分の家から持ってきてください。」と言われた。本当に何かあった時に、どうするのかと思った。</li> <li>・以前、避難したが、発電機が動かなかったことがあった。メンテナンスは行政がしっかりやってくれないと困る。</li> <li>・ハザードマップを知らない人が多いのではないか。</li> </ul>
<b>地域・民間ができること</b>	
地域での防災活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の部落では防災組織があり、年に何回か会議を行い、先週は地震を想定した防災訓練を行った。消火器訓練、救急対応訓練などを市役所、消防署、警察署の協力により実施した。</li> </ul>
消防団活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の意識を高めるために一番良いのは、消防団の方の広報だと思う。消防団の方は、普段は仕事をしながら災害時には火災消化活動等に参加しているので、半分は市民の立場である。火災消火活動等を市側からではなく消防団が一般の人という立場から言ってもらおうと響くのではないか。実際に活動している方の話は強いと思う。</li> <li>・消防団は顔見知りが多いから、活用によってはコミュニケーション取れそうだが。消防団はどちらかという地域に近い存在だと思う。</li> </ul>
<b>市民ができること</b>	
避難用の備品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段から備蓄用品をリュック詰めることは、赤十字のつどいの中でやっている。スマートフォンの充電器なども持っている。</li> <li>・各自で3日分の備蓄を用意することについて、市もお金があれば全避難所に全部のご飯などを配れると思うが、ご承知のとおり、富津市は財政難。だからこういうときに自分たちで何ができるかが大事だと思う。テレビでも最低3日分の備蓄は用意すべきと言っている。</li> <li>・個人で多く備蓄している場合は、互いに分け合うという観点もあるのではないか。</li> <li>・確かに防災に関する備蓄や避難所での毛布等について、全員に用意があればいいと思うが、自分の身は自分で守るということは基本にあると思う。</li> </ul>
防災への個人意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災については、市がどうこうじゃなくて、個人が考えることだと思う。例えば市が防災訓練をやっても、「うちには災害は来ないから。」と想いながらただ参加するのであればやっても意味が無い。実際、災害時に全部の救急車や消防車が出てしまっていたら、住民</li> </ul>

	<p>がやらなければならない訳だから、やはり自分で意識を持つということが一番大切だと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練は、嫌々やるなら本気になって取り組んだ方がいいと思った。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共助について、消防では心肺蘇生法やAEDの使い方の訓練を、赤十字では止血法、運搬法などを訓練できるので皆さんにも試してもらいたい。館山では、消防、赤十字、自衛隊などが出て大々的な訓練を実施した。このような機会があったら是非参加してもらいたい。</li> </ul>
<b>その他（体験談等）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまり地域の人とコミュニケーションを取れていない。実家に弟と2人暮らしで、朝早く仕事に出て、帰りは暗くなってから。回覧板も玄関に置きっ放しになるので、回さないようお願いしている。災害の訓練にも参加することもない。草刈りも日曜の朝に実施しているようだが、私たちは回覧を見ていないから行かない。できない訳ではないのだが。</li> <li>・防災について、個人の意識を高めることの必要性は理解するが、実際、休日などの参加には足が遠のく。</li> </ul>	

#### (5) 数値目標 富津市への愛着度（市民意識調査）

<b>数値目標</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年度の目標値については、下げた方がよい。</li> <li>・3年たって上がっていないのだから、下げた方がよい。</li> <li>・「よくわからない」と回答した人がどのように変化するか分からない。</li> <li>・今回の討議で出たマイナスの意見がプラスに変わっていけばこの数値は上がると思うが、そんな短い期間でできるとは思えない。</li> <li>・ハードルはやはり下げた方がよいのでは。目標達成しやすいので、少しずつの方がよいのでは。</li> <li>・一気に上げると一気に下がるのではないか。だから下げた方がよい。</li> <li>・若手としては、このままでよいと思う。</li> </ul>